

児童発達支援・放課後等デイサービス支援プログラム

① 事業所基本情報

事業所名：障害児通所支援事業所 そよ風 （～令和7年3月31日まで）
児童通所支援事業所 そよ風 （令和7年4月1日～）

② 令和7年3月4日

③ 運営法人理念

社会福祉法人 中部少年学院 法人理念

はぐくむ（愛護）：すべての児童は福祉を等しく保証される権利を有する。

はばたく（自立）：すべての児童は心身ともに健やかに育成され、自立への支援が図られる。

ささえる（共生）：人と人との支え合う共生社会づくりに寄与する。

④ 支援方針

- ・子ども一人ひとりの発達段階に応じた個別支援を行い、
基本的な生活習慣の確立や社会性の向上を支援することを目的とする。
また、家族支援や地域連携を強化し、子どもの自立に向けた包括的なサポートを提供する。
- ・個別最適な支援の提供
子どもの発達状況に応じた個別支援計画を策定し、成長を支援します。
- ・生活習慣と社会性の向上
基本的な生活習慣を身につけ、社会での適応力を養います。
- ・家族との連携・支援
保護者向けの勉強会や相談会を実施し、家庭での支援をサポートします。
- ・地域とのつながり
地域の支援機関や施設と連携し、子どもたちが社会の一員として成長できる環境を整えます。
- ・職員の専門性向上
継続的な研修やスキルアップの機会を提供し、質の高い支援を実施します。

⑤ 営業時間：平日・土曜日 8:30～17:30 休業日：日曜・祝日・お盆・年末年始

⑥ 送迎の有無：下関市内（一部地域は要相談）

⑦ 本人支援の内容と5領域の関連性

(1) 健康・生活

来所後の着替え、食事、トイレ、片付け等の日常生活動作の習得支援

清潔習慣（手洗い、歯磨き）の指導

健康管理（体調確認・適切な休息）

(2) 認知・行動

療育活動を通じた色や数、比較に関する基本概念の理解支援
言語理解や表現力を高める学習活動
注意力や問題解決能力の向上を目指した遊びや課題活動

(3) 運動・感覚

運動スペースでの粗大運動（体幹トレーニング、バランス運動）
指先を使った工作・パズルなどの微細運動支援
感覚過敏・鈍麻への対応（感覚統合遊び）

(4) 言語・コミュニケーション

日常会話を通じた語彙の増加、発語・発話の支援
絵カードや AAC（補助コミュニケーション）を活用した意思表示支援
ロールプレイによるコミュニケーションスキル向上

(5) 人間関係・社会性

遊びやグループ活動を通じたルール理解と協調性の育成
役割分担や共同作業を通じた対人関係の発達支援
地域交流イベントや外出活動の実施

⑦ 家族支援

保護者向け情報提供（勉強会、相談会の開催）
個別相談の実施（家庭での支援方法や発達に関する相談）
家庭支援センター・児童養護施設との連携強化
相談支援事業所の設立検討（専門スタッフによる支援体制の構築）

⑧ 移行支援（保育所・学校・地域生活への移行）

保育所・学校との連携を強化し、スムーズな移行を支援
地域生活での適応を促す体験活動（公共交通機関の利用練習、買い物体験など）
個別支援計画をもとに、進学・就学に向けた適切なサポートを実施

⑨ 地域支援・地域連携

地域の福祉施設、医療機関、教育機関との情報共有と連携
ボランティアや地域住民との交流活動の実施
地域イベントへの参加・共催

⑩ 職員の専門性向上

法人内研修や外部研修の積極的な参加
ケース検討会の実施（支援の質の向上）
スキルアップのための専門資格取得支援

⑫ 主な年間行事・季節の活動

春：お花見、ハイキング 夏：夏祭り、プール（水）遊び 秋：遠足、ハロウィンイベント
冬：クリスマス会、節分、お餅つき 法人イベント：法人主催の「さつき祭」「秋まつり」